

平成24年 第11回帯広市教育委員会会議録

1. 平成24年6月25日月曜日 10時10分～11時30分
帯広市教育委員会会議を帯広市役所 教育委員会室に招集する。

2. 本日の出席委員

教育委員長	田 中 厚 一
教育委員	市之川 敦 子
教育委員	門 屋 充 郎
教育委員	伊 藤 成 昭
教 育 長	八 鍬 祐 子

3. 本日の議事日程

- | | |
|-------|--------------------------------------|
| 日程第 1 | 会議録署名委員の指名について |
| 日程第 2 | 選挙執行(2) 帯広市教育委員会委員長職務代理者の選挙について |
| 日程第 3 | 議案第 42 号 帯広市奨学条例施行規則の一部改正について |
| 日程第 4 | 議案第 43 号 帯広百年記念館運営審議会委員の解職について |
| | 議案第 44 号 帯広百年記念館運営審議会委員の委嘱について |
| 日程第 5 | 報告第 11 号 絆を育む学校づくり支援事業の採択結果について |
| 日程第 6 | その他(1) 帯広市議会 6 月定例会の報告について |
| | その他(2) 新学校給食調理場厨房機器プロポーザル選定結果について |
| | その他(3) 2012 フードバレーとかちマラソン大会の準備状況について |
| | その他(4) 今後の事業予定について |
| | その他(5) 寄附受納について |
| | その他 |
| 日程第 7 | 報告第 12 号 第 5 回中城ふみ子賞決定について【非公開】 |
| 日程第 8 | 議案第 45 号 職員の処分について【秘密会】 |

田中委員長 これから、平成24年第11回帯広市教育委員会会議を開会いたします。

出席委員は全員であります。

会議は成立しております。

ここで諸般の報告をいたします。

(野原課長報告)

日程第1、会議録署名委員の指名を行います。

会議録署名委員は、門屋委員及び伊藤委員を指名いたします。

日程第2、帯広市教育委員会委員長職務代理者の選挙を行います。

市之川委員の職務代理者としての任期は、本年6月26日をもって任期満了となることから、平成24年6月27日から平成25年6月26日までの任期における委員長職務代理者の選挙を行うものであります。

お諮りいたします。

帯広市教育委員会委員長職務代理者の選挙の方法については、帯広市教育委員会会議規則第1条第1項の規定に基づく投票と同条第2項の規定に基づく指名推せんの方法があります。選挙の方法をどちらにしたらよいか、お諮りいたします。

伊藤 委員 委員長職務代理者選挙の方法は指名推せんの方法を用いたらよいと思います。

田中委員長 ただいま、伊藤委員から委員長職務代理者選挙については、指名推せんの方法を用いたらよいとのことですが、このように決定することにご異議ありませんか。

各 委 員 異議なし。

田中委員長 ご異議なしと認め、そのように決定いたしました。

伊藤 委員 市之川委員を指名いたします。

田中委員長 ただいま、伊藤委員から市之川委員が指名されましたが、この指名にご異議ありませんか。

各 委 員 異議なし。

田中委員長 ご異議なしと認め、そのように決定いたしました。よって市之川委員が委員長職務代理者に当選いたしました。

市之川委員委員長職務代理者から一言ご挨拶をお願いいたします。

(市之川委員長職務代理者挨拶)

田中委員長 ありがとうございます。

日程第3、議案第42号、帯広市奨学条例施行規則の一部改正についてを議題といたします。

直ちに説明を求めます。

須貝 部長 議案第42号、帯広市奨学条例施行規則の一部改正についてご説

明申し上げます。議案書3ページでございますが、4ページの帯広市奨学条例施行規則の新旧対照表をご覧くださいと思います。今回の一部改正につきましては、外国人登録法の廃止に伴う帯広市奨学条例の一部改正に伴い、外国人住民も住民基本台帳の適用となりますことから、現行条例の下線部分を削除し、所要の整備を行おうとするものでございます。なお、外国人登録者につきましては、これまでも募集の対象としておりますので、現行制度に変更はございません。以上よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

田中委員長
各委員
田中委員長

これから質疑に入ります。

ありません。

別になければ、質疑を終結いたします。

お諮りいたします。

議案第42号、帯広市奨学条例施行規則の一部改正については、原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

各委員
田中委員長

異議なし。

ご異議なしと認め、議案第42号は決定されました。

日程第4、議案第43号、帯広百年記念館運営審議会委員の解職について外1件を一括して議題といたします。

直ちに説明を求めます。

大久保部長

議案第43号、帯広百年記念館運営審議会委員の解職について及び議案第44号、帯広百年記念館運営審議会委員の委嘱について一括してご説明いたします。議案書は5ページから8ページになりますが、はじめに5ページをご覧くださいと思います。まず、議案第43号につきましては、帯広百年記念館条例第12条の規定に基づき、帯広百年記念館運営審議会委員を解職するものであります。教育委員会の附属機関として設置しております、帯広百年記念館運営審議会委員のうち、帯広市校長会からの推薦委員として、委員に委嘱しておりました馬淵新司委員ですが、帯広市校長会の役員改選に伴い、委員を辞任したい旨の届出が提出されたため、解職しようとするものであります。解職日につきましては、本日平成24年6月25日となります。次に議案書7ページをご覧ください。議案第44号につきましては、議案第43号で解職いたします、馬淵新司委員の後任の委員として、帯広市校長会から推薦をいただいております、斉藤昌之氏を帯広百年記念館条例第12条第4項及び第5項の規定に基づき、新たに委員に委嘱しようとするものであります。任期につきましては、平成24年6月26日から前任者の残任期間であります、平成25年6月30日までとなります。以上よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

田中委員長
各委員

これから質疑に入ります。

ありません。

田中委員長

別になければ、質疑を終結いたします。

お諮りいたします。

議案第43号、帯広百年記念館運営審議会委員の解職について外1件は、原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

各 委 員

異議なし。

田中委員長

ご異議なしと認め、議案第43号外1件は決定されました。

日程第5、報告第11号、絆を育む学校づくり支援事業の採択結果についてを議題といたします。

直ちに説明を求めます。

須貝 部長

報告第11号、絆を育む学校づくり支援事業の採択結果につきましてご報告申し上げます。議案書10ページでございますが、一部訂正がございますので、申しわけございませんが、本日お手元に配付させていただきました差替えの資料をご覧くださいと思います。昨年度までの活力ある学校づくり支援事業が終了し、今年度から3ヵ年計画で、絆を育む学校づくり支援事業をスタートしているところでございます。はじめに、1. 趣旨でございますけれども、本事業は各種調査等に基づく、不断の学校改善の取り組みや環境教育や食育の取り組みなどの支援を通して、学校の活力を高めるとともに、学校の主体性、自律性を向上させ、家庭や地域との絆を育み、これまで以上に信頼される学校づくりを進めることを目的に実施するものでございます。本事業の事業費1千万円のうち、500万円を基礎配分といたしまして、学校規模や児童生徒数に応じて配分し、残りの500万円は、各学校が主体的に企画提案する取り組みについて、教育委員会でヒアリングを行い、内容に応じた査定額を配分するものでございます。なお、査定額の500万円につきましては、人との絆に250万円、ふるさととの絆に250万円の配分としたところでございます。次に2. 日程でございますが、5月16日から各学校の企画提案についてヒアリングを行いました。また、5月28日からの選考会議を経て決定したところであります。次に3. 採択状況でございます。今年度も市内全小・中学校から提案がございました。小学校につきましては、延べ41校からの企画提案があり、このうち延べ40校の企画提案を採択したところでございます。また、中学校につきましては、延べ18校の企画提案があり、このうち延べ17校の企画提案を採択いたしました。この結果、全ての小・中学校について、1件以上の企画提案を採択したところであります。なお、今後各学校の具体的な取り組みの進行状況につきまして、適宜、情報提供させていただきたいと考えております。報告は以上でございます。

田中委員長

これから質疑に入ります。

門屋 委員

全校の取り組みの中身について、一覧になったものがあれば後ほ

須貝 部長
田中委員長

どでも構いませんのでいただければと思います。

後日調整させていただいてご提出させていただきます。

他になれば質疑を終結し、本件を終了いたします。

日程第6、その他に入ります。

その他(1)帯広市議会6月定例会の報告についてを議題といたします。

直ちに説明を求めます。

植松調整監

それでは、私から6月8日から22日まで開催しておりました6月定例市議会における学校教育部に係ります質疑について概要をご報告させていただきます。議案書15ページでございます。はじめに藤澤議員から、学校給食費の取り扱いの現状と問題点、公会計化への対応についてのご質問があり、帯広市学校給食共同調理場条例に基づき、学校長が取りまとめ、市に納付するまでを私会計、それ以降については公会計の取り扱いをしていること、学校長の負担軽減を図るため、各学校に収納事務員を配置し収納管理にあたっているが、現金管理や未納世帯への督促など、少なからず学校長への負担を生じていることなどから、公会計化については他市の状況を調査していく旨の答弁をしております。次に高田議員から、特別支援教育において、幼保・小中高を通じて、誰もがともに歩むことができるまちづくりにふさわしい教育についての本市の今後の方向性を伺うご質問があり、できるだけ早期から発達支援を行うとともに、一人一人の教育ニーズを把握し、適切な指導や支援を行うため、幼稚園、小学校、中学校、高校などとの連携を一層深めながら、より効果的な取り組みが図られるよう関係部課、関係機関との連携を図っていく旨の答弁をしております。次に熊木議員から、学校現場における食育推進を図るため、栄養教諭と食育指導専門員の役割についてのご質問があり、栄養教諭については、調理場における栄養管理者としての業務のほか、学校における給食指導、家庭科や学級活動における栄養指導を担うこと、食育指導専門員については、栄養教諭や栄養士が行う食育指導を補完し、食育指導機会の充実を図る旨の答弁をしております。次に今野議員から、通学路における安全対策と不審者対策についての質問があり、交通量の多い箇所や注意が必要な箇所については、教員やPTA、地域ボランティアによる見守り活動の実施、各学校において通学路の危険箇所マップの作成及び配布をしていること、学校現場における不審者対策としてインターホンを通じた来校目的の確認、身分の確認、手荷物の一時預かりなど、安全対策に取り組むとともに、具体的な取り組みとして来校者に協力を求めたポスターを掲示している旨の答弁をしております。次に菊地議員から、新たな学校給食調理場において、献立についての今後の考え方を伺うご質問があり、ご飯の直接炊飯による、

より温かい状態での提供や混ぜご飯などを提供すること、和え物の提供により品数を1品増やすこと、新たな器の導入により麺とパンの組み合わせを解消すること、調理器具能力の向上による新メニューが提供できるなど、調理場の機能向上による献立の充実が図られる旨の答弁をしております。次に清水議員から、学校における防犯対策として即効性のあるオートロック、玄関施錠の遠隔操作、防犯カメラの設置などの考えはあるかのご質問があり、未然防止の観点からも効果的な手法であると思われることから、学校の施設状況や防犯体制を踏まえ、より効果的な安全対策を検討していく旨の答弁をしております。次に編田議員から、フードバレーとかちを志す帯広らしい新たな学校給食づくりはどのようなものかのご質問があり、国内有数の食料生産地、食関連産業が集積している特性を最大限に生かし、農業はもとより地域の企業や団体との一層の連携を図りながら、魅力ある給食の提供、食育、地産地消、食に関する情報発信をすすめ、子どもたちが食の大切さ、楽しさを実感し、喜んでもらえる学校給食づくりが大切であるとの答弁をしております。次に大林議員から、京都府亀岡市の通学路における交通事故後の対応と危険な通学路の把握についてのご質問があり、各学校に対し、登下校時の交通安全指導の徹底を通知したこと、通学路の安全点検や危険箇所の調査報告を求めた旨の答弁をしております。次に杉野議員から、新たな学校給食調理場において地産地消をどのように実現していくのかのご質問があり、現調理場では施設や設備機器の衛生管理上や能力的な制約により使用できなかった野菜類も新たな調理場では食材に使うことが可能となることから、献立の創意工夫と併せて地場産農産物の使用割合を高めていく旨の答弁をしております。学校教育部に関する報告は以上でございます。

敦賀調整監

引き続き生涯学習部に係ります主な質疑項目についてご報告させていただきます。議案書の16ページをご覧ください。先ほど、ご説明した学校教育部の質問項目の右側に生涯学習部の欄がございますので、資料に従いご説明させていただきます。生涯学習部につきましては、一般質問で2名の議員から、また、議案査特別委員会においても、2名の議員からご質問がございました。まず、一般質問では、大林議員から、屋内スピードスケート場に対するご質問がございました。平成21年9月から供用を開始した同施設のこれまでの収支状況、利用状況を確認し、利用者の視点に立ったサービス提供を継続していくことで、更なる利用増、収益増につなげていくべきとのご意見をいただいております。次に鈴木正孝議員ですが、今年度、初開催となるフードバレーとかちマラソンについてご質問がございました。同議員はこれまで、大会の成功を導くために、多くの市民の協力が必要なことから、場面、場面においてその進捗状

況を確認していくと述べておりまして、今議会においてもご質問をいただいたものでございます。3月の議会においても、概要についてご質問をいただいておりますが、その後の準備状況をご説明したところでございます。後ほどその他の案件におきまして、現時点における大会の準備状況等をご説明させていただきます。次に議案書17ページ、議案審査特別委員会について、2名の議員からご質問がございましたが、いずれも帯広市関与団体として、平成23年度の事業報告を行っております帯広市文化スポーツ振興財団に関するご質問です。まず、上野議員からは、文化スポーツ振興財団への市退職者の再就職状況について問われ、民の発想を活かすため、民間の登用について、市としても同財団に対し、意見を述べていくべきとのご意見をいただいております。また、稲葉議員からは、指定管理施設における再委託の業務内容の把握について、現状のしくみでは十分ではなく、今後の議論が必要であるとのご意見をいただいております。生涯学習部に係ります主な質疑項目は以上でございます。

田中委員長
各委員
田中委員長

これから質疑に入ります。

ありません。

別になれば、質疑を終結し、本件を終了いたします。

その他(2)新学校給食調理場厨房機器プロポーザル選定結果についてを議題といたします。

直ちに説明を求めます。

宮脇企画監

新学校給食調理場厨房機器プロポーザル選定結果についてご報告いたします。新調理場の厨房機器につきましては、プロポーザル方式により実施する旨4月23日開催の教育委員会会議でご報告させていただいております。この方式にあたりましては、6社から企画提案書の提出がございました。以降プレゼンテーションを含みます3回の委員会を開催し、それぞれの委員さんの採点、集計によりまして、6月11日教育長決裁により選定しているところでございます。議案書19ページでございますが、ラインごとに採用する企画提案を選定してございます。副食調理ラインは順位1位の株式会社中西製作所北海道支店、炊飯ラインにつきましては株式会社アイホー札幌支店、洗浄・消毒・保管ラインにつきましては株式会社中西製作所北海道支店でございます。この選定結果と選定委員の名簿につきましては6月11日付でホームページでも公開しているところでございます。今後採用された提案者の設計協力を受け、別途新学校給食調理場基本・実施設計業務の委託契約を結んでおりますパシコン・谷津設計・福井設計特定委託業務共同企業体が提案内容を設計の中で取り入れていく形になります。具体的には平成24年度中に基本設計・実施設計が策定される予定となっております。報

告は以上でございます。

田中委員長
市之川委員

これから質疑に入ります。

この中西製作所北海道支店とありますけれど、本社はどちらで、厨房機器関係は他でもたくさんやってらっしゃる会社なのですか。

和田 主幹

中西製作所につきましては、本社は東京でございます。ちなみに炊飯ラインのアイホーにつきましても本社は東京でございます。結果的には採用された2社の企業名を明記してございますが、他の業者は明記しておりません。ただ6社とも提案の中で業務実績等もいただいているところですが、それぞれ全国各地で幅広く実績もあり、全国的にもほぼ上位というようなイメージでございます。

田中委員長

他になれば、質疑を終結し、本件を終了いたします。

その他(3)2012フードバレーとかちマラソン大会の準備状況についてを議題といたします。

西尾 主幹

直ちに説明を求めます。

2012フードバレーとかちマラソン大会の準備状況についてご説明いたします。本日配付いたしました資料の1ページの概要をご覧くださいと思います。2012フードバレーとかちマラソン大会は、その大きな目的として、スポーツに親しむ機会を提供し、市民の健康増進を図るとともに、スポーツを通じたにぎわいと交流の促進を目的といたしまして、本年11月4日の日曜日に開催を予定しております。ハーフマラソンは、西2条南9丁目の藤丸ビル前を午前9時にスタートし、帯広の森付近で折返し、中央公園南側でゴールする形でございます。ハーフマラソンの外、5km、2.5kmのコースも設定しております。大会参加の募集要項もまとまりましたので、旅行代理店のJTB北海道、記録計測のアイサムなど、マラソン大会企画グループ各社のノウハウにより、エントリーセンターを開設しながら、7月2日から受付を開始したいと考えております。参加選手の規模は、ハーフマラソンで2千名規模、5km、2.5kmで数百名を想定しております。コース図につきましては、資料2ページをご覧ください。西2条藤丸ビル前をスタートし、白樺通りを西に向かい、西22条から南下し、帯広南商業高校前を通り、帯広の森付近で折返し、同じコースを通り中央公園南側でゴールするという設定でございます。なお、5kmは西16条西町公園付近、2.5kmは、帯広競馬場の手前付近で、それぞれ折り返す設定であります。現在、コース設定、道路交通規制や安全対策については、北海道警察釧路方面本部並びに帯広警察署との協議もほぼ整ってまいりました。ハーフマラソンは、市内中心部や交通量の多い白樺通りを使用し、当日は交通規制も実施いたしますことから、関係する8つの連合町内会会長様、また、沿線の48町内会の会長様に先週の6月19日までに概要を説明し、協力を求めてきております。募集要項につつま

しては、資料3ページ4ページをご覧いただきたいと思います。印刷の刷り上りにつきましては、A3版の二つ折りで今週中にでき上がる予定でございます。印刷ができ上がり次第、関係各所に配付する予定でございます。事業の推進体制ですが、選手の歓迎や交通誘導などにボランティアをはじめ、多くの市民の協力が必要でありますことから、競技運営に欠かせない陸上競技団体、体育関係団体、商業・農業関係団体、旅館・ホテルや観光関係団体、地域町内会、などに参画いただきながら、今年度に入りまして、実行委員会、役員会を組織し、準備を進めているところであります。また、大会は、多くの選手の参加が期待されることから、帯広・十勝の絶好のPRの機会ととらえておりまして、帯広まちなか歩行者天国実行委員会の協力により、大会当日はスタート地点であります西2条平原通りで秋のホコテンを同時開催いただき、表彰式、抽選会、更にはとちの食を味わっていただくイベントも観光部局とともに企画中でございます。以上概略、準備状況をご説明させていただきました。

田中委員長
伊藤 委員

これから質疑に入ります。

2点ばかりお伺いしたいと思います。非常に記念事業としてはトピック的な行事イベントではないかと思っております。街中を走るというのは、アスリートにとっては非常に刺激的な部分がありますので、いいコースをとっていると思えました。今の説明の中にフードバレーという名称から、参加者は食に関する特徴的なイベントも加味されると思い参加するだろうと思えます。ホコテン等でそういったイベントも行われるのは歓迎されることだと思えます。ただ、給水所について、単に給水だけなのか、特産物的なものが多少いただけるのか、そういう企画があればお聞かせいただきたいのと、もう1点は、記念事業として今年度だけなのか、来年度以降も継続していくのかお聞きします。

西尾 主幹

まず、給水所について、まず、水分補給が第一でございます。そちらが優先になりますけれども、栄養補助食として提供することを考えてはいるのですが、食の提供という形ではなくて、走るのに支障のない物におさえたいと思えます。ゴール後、選手の着替えが終わりましたら、西2条のホコテンのところにそういったテーマを持ったブースを多く設けることをご案内しながら、十勝の食という部分で注目していただきたいと考えております。継続のお話でございますが、まずは今年度、事故がなく成功裡に終わらせることを第一に考えまして、その後に次の段階に進んでいけたらと思っております。スポーツ部局として継続ということ念頭に置いておりますけれども、今年度の運営体制をしっかりと、次のステップに立ちたいと考えてございます。

田中委員長

私からも2点ほど教えてください。1つほどのくらいの参加者を

想定されているのかということと、ハーフマラソンとはいえ、有名招待選手のご予定はあるのかどうかお聞きします。

西尾 主幹

参加者につきましては、目標ですけれどハーフマラソンが2千名、2.5 kmと5 kmについては2、3百程度の参加が望めるのではと考えております。ハーフの方の招待選手ということですが、今現在、オリンピック協会にオリンピックに出場経験のある方を推薦いただくようJOCを通じて依頼中でございます。その他各方面に依頼してございますが、まだ、最終的な結論に至っておりませんので、ご報告できる内容は今のところございません。

田中委員長

ありがとうございます。

田中委員長

他になれば、質疑を終結し、本件を終了いたします。

その他(4)今後の事業予定についてを議題といたします。

直ちに説明を求めます。

村松 室長

学校教育指導室の所管する事業OBHIROイングリッシュスタディについてご説明いたします。この事業につきましては、新しい学習指導要領の中で外国語活動が小学校5・6年生に位置づけられたことを受けまして、帯広市学校教育指導室にいる外国人講師とともに英語を使ったゲーム等に楽しんで参加していただいて、英語の音声や表現に慣れ親しみ、コミュニケーション能力の素地を培うものでございます。対象は小学校5・6年生に絞らせていただき、夏休みの7月26日27日、1部午前、2部午後の日程に分けて実施するものでございます。

早川 所長

教育研究所の7月の事業予定についてご説明いたします。1件目は、今年度の夏季教員研修講座でございます。7月26日より5日間の日程で八千代中学校等を会場に教員の資質向上を図るため、体験的な研修を中心とした講座を予定しています。今年度はそば打ち、環境教育を計画しているところであります。2件目は、学年学級経営研究協議会を7月19日に、学年・学級経営に係わる部分で、道立教育研究所の研究研修主事をお招きしての講演、若手教職員の実践発表をもとに研究協議を深めるものでございます。以上です。

西尾 主幹

スポーツ振興室の事業予定でございます。22ページをご覧くださいと思います。先ほどご説明いたしました、2012フードバレーとかちマラソン大会の募集開始ということで、7月2日から9月28日まで募集期間を設けております。募集自体は専用のホームページ、振込用紙によりエントリー受付となっております。次にツール・ド・十勝でございます。7月14日15日の土日、いずれも8時半から競技開始となっております。場所につきましては、十勝川河川敷サイクリングコースが14日、とかちプラザ周回コースが15日、小学生から実業団選手まで全国から選手が集う自転車競技でございます。ロードレース、周回レース、タイムトライ

アルなどの自転車競技が行われるものでございます。次に全国高等学校野球大会北・北海道大会が7月14日から20日まで行われます。例年は旭川スタルヒン球場で行われておりますけれども、本年は開拓130年市制施行80年の記念事業として、帯広の森野球場で開催される予定でございます。明治北海道十勝オーバルナショナルトレーニングセンター対応臨時開館について、7月15日から21日まで、本年度のナショナルトレーニングセンター指定期間が7月15日から9月26日でございますが、オーバルのオープン前の段階につきましては、臨時ということを開館するものでございます。続きまして、明治北海道十勝オーバルスケートリンクオープンでございます。7月22日9時から一般利用のオープンでございます。スケートリンクの一般利用を開始いたします。同日13時から株式会社明治様の提供によります、オープニングイベントを開催し、無料開放であるとか、プレゼントの配布が行われます。本年度のスケートリンクの利用期間は7月22日から3月3日まででございます。続きまして、日韓バスケットボール交流事業でございます。7月23日から27日まで、今回は大韓民国仁川市に派遣になります。帯広と韓国の若人の相互理解を深め、バスケットボール技術の向上を図るため、韓国ソウルに市内の選抜された高校生を派遣し、交流大会を行うものでございます。以上でございます。

吉田 館長

図書館から事業をご報告させていただきます。四館連携及び開拓130年記念事業として、企画展、写真が語る帯広の街並み、7月14日から29日まで、百年記念館から50枚ほど写真をお借りして、街並みの歴史や帯広のことが分かる展示会を行おうと思っております。この写真を使いまして、7月21日に写真をスクリーンに投影しまして、さくらライオンズクラブ様にコーディネーターの役割を務めていただき、会場の参加者と一緒に写真にまつわる思い出を語りながら、回想法を実施しようとするものです。3つ目は、えほんをのせて、おはなし隊がやってくるとして、講談社のキャラバンカーの巡回が隔年で北海道を巡回しますことから、7月26日に百年記念館の前庭を使わせていただきまして、児童書をたくさん積んだキャラバンカーの見学と同時に「おはなし会」の実施をいたします。ザ・本屋さんと図書館と百年記念館の連携事業です。24ページになります。読書感想文教室、ジュニア文芸の募集が始まっておりますが、ジュニア文芸の選者を講師として、7月28日土曜13時から、小学生4年生から6年生、中学生を対象に自分で選んだ本を使って、テーマの見つけ方や感想文の書き方などを学ぶ教室を開催いたします。以上です。

北沢 館長

百年記念館の事業でございます。1件目、ロビー展でございます。帯広市内に在住の荘田喜與志先生が撮影されました写真を当館でた

くさん収蔵しており、その公開を目的に年に1度開催している昭和からの伝言というシリーズでございます。今回は帯広市開拓80年の昭和37年、開拓100年の昭和57年の式典の様子や当時の街並みを撮影した写真を紹介しようというものでございます。それから7月7日の博物館講座は、当館の伊藤学芸員の日常の調査研究で、森の掃除屋さんというタイトルで虫に関係する講座でございます。それから、企画展で写真が語る帯広の街並みとして、先ほど図書館からもご紹介がありましたが、広小路、西2条商店街、藤丸、帯広駅、図書館などで、その場所を中心に写されたかつての街並みと比べてもらえればと思います。ここには載ってございませんが、7月7、14、21日には親子陶芸教室を開催いたします。それから、百年記念館運営審議会が7月19日に開催されます。平成24年度の百年記念館の事業等々についてご審議いただく予定でございます。以上です。

高橋 園長

動物園から事業予定についてご説明いたします。1点目、おびひろ動物園動物写生コンクール表彰式です。6月23日に写生画コンクールを行っており、約240点の応募がございました。その表彰をびあざフクハラで行うものであります。また、7月4日から10日まで同会場で作品を展示し、優秀作品については全道大会にも出展する予定でございます。25ページになります。7月14、15日におやこ de zoo を開催いたします。責任を持って動物を世話することを親子で考えていただく体験教室でございます。動物を世話するための心構えや準備、実際に動物にふれあいながら実践していく活動になってございます。次に7月16日に動物たちに氷のプレゼントということで、暑い夏を乗り切ってもらおうということで、ホッキョクグマ、チンパンジー、日本猿などの動物たちに氷を給餌しようというものでございます。氷の中から餌を取り出そうとする姿や氷と戯れる様子を見ることができないのではないかと思います。次に7月27日から29日の3日間は動物園を9時まで延長して開園し、多くの皆様に普段見られない動物の様子を見ていただこうというものでございます。ライトアップした遊園地や夜行性の動物の行動が見られるものと思います。それから、7月28日に中高生の1日飼育係ということで、飼育員として1日飼育、管理を体験し、動物や動物を取り巻く環境について学びたいと思います。それから、記載してございませんけれど、5月26日にご承知のとおり、きりんの赤ちゃんが生まれております。この愛称について公募しておりましたけれど、スカイという名前に決定させていただきました。この命名式と感謝状の贈呈を7月1日に同園において行います。また、当日配付させていただきましたチラシをご覧いただきたいと思っております。来年おびひろ動物園は50周年を迎えることとなります。その

記念事業の1つとして実施するものでございます。市民の皆様支えられながら50周年を迎えるにあたりまして、おびひろ動物園の歴史を皆様から提供された写真で振り返ろうと考えております。既に6月から写真の提供の募集を開始しております。思い出の詰まった多くの写真が集まることを期待しております。以上でございます。

田中委員長
門屋 委員
田中委員長

これから質疑に入ります。

きりんの赤ちゃんは順調に育っているのでしょうか。

それについていかがでしょうか。それと先ほど愛称がよく聞き取れなかったのですが、もう一度お願いします。

高橋 園長

スカイです。順調に育っております。当初は育児放棄などを心配しておりましたが、そういうことも全くなく、また、シマウマと一緒に生活しているのですが、シマウマのお母さんがやきもちを焼いて、当初いじめていて展示のできない期間があったのですが、今は仲良くしております。

伊藤 委員

指導室の事業でお伺いしたいのですが、イングリッシュスタディについて、とても効果的な学習になるのではないかと期待しております。学校内外において、こういった学習、あるいは研修を多く取り上げていただければと思っております。これは子どもたちが対象ですけれども、今後、教員向けのこの種の研修について、教育研究所でも取り組んでいるだろうと思っておりますが、外国人講師のみによる外国語研修の企画を今後考えているのかどうか。それから、ちょっと幅広い質問ですが、小学校で外国語に関する授業が設定されて、高学年については1年間経験してきていると思っておりますけれど、中学校に現在進んで、中学校の英語科での影響、成果や課題、あるいは問題など、まだ、中途でありますけれど、何か声があるのかどうかお伺いしたいと思います。

村松 室長

まず、イングリッシュスタディの件についてですけれども、先ほど申し上げ忘れましたが、今年度初めて取り組んでいく新しい事業でございます。子どもたちはもちろんでございますけれど、教員の研修についても、夏休み中に各学校の要請に応じて、小学校にALTを派遣し、研修に参加していただいております。今後、英語の部分については、より教員の専門性を高める意味で、ALTの研修も含めた研修の充実を図っていきたいと考えております。それから、小学校から中学校への連携というような観点ですけれども、小学校においてはコミュニケーション能力の素地ということで、子どもたちが楽しく英語を学んで中学校のアルファベットにつなげていく観点からの橋渡しなのでございますけれども、学校訪問で中学校の英語の先生に聞いたところ、英語に対する興味が高い子どもが多くなったという評価をいただいております。今後、そういう意味では、小学校と中学校の連携により、子どもたちの英語力を高めていけるもの

と確信をしております。以上でございます。

早川 所長

教職員の外国語活動に対する研修について、先ほどお話ししました教職員研修講座の中にもALTを活用した授業場面で児童に指導する場合のポイントなどを学ぶ実践講座を予定しております。外国語活動導入から夏季・冬季講座において続けてきている内容になっております。

伊藤 委員
市之川委員

ありがとうございました。

明治北海道十勝オーバルについて、ナショナルトレセンの指定期間中に一般に先立って7月15日から臨時開館する予定だそうですが、このほかにナショナルトレセンの利用予定が入っているのでしょうか。それから、製氷作業はいつ頃から始めるのでしょうか。オープニングイベントでは、清水宏保選手などオリンピックで活躍されている選手などを招いた指導などは予定しているのでしょうか。

西尾 主幹

まず、ナショナルトレーニングセンターにつきましては、日本代表選手ほか、高校生、大学生等の日本選抜選手を含めたトレーニングについて、15日から21日の午前・午後の日程で練習時間を取るのに臨時開館で対応させていただきます。更に9月26日までの間につきましては、同じように選抜選手、代表選手の練習時間等の時間帯を設けるということで継続される形になります。1日の日程の中では、9月26日までの間では、一般開放の時間、管内の小学生・中学生を含めた競技者専用の時間を割り振りまして、細かく利用者の日程を作っております。それから、製氷の期間につきましては、現在製氷のための清掃期間に入っております。実際に水を撒く期間につきましては、7月の頭からの予定になります。実際に室内の温度を零下に近づけながらやっていくということで、温度を下げていくことも含め、製氷の期間が始まっているという形になります。それから、オープニングイベントにつきましては、残念ながら、清水宏保選手はこの時間に来られないのですが、現在予定しておりますのは、ナショナルトレセンに来ていただいている日本代表の選手にご協力いただきながら、プレゼント提供会、握手会、一般フリー滑走と一緒に滑っていただくという企画を考えております。以上でございます。

市之川委員
門屋 委員

ありがとうございました。

先ほどのイングリッシュスタディ絡みのことなのですが、こういう企画は今後ないのかなと思っていたことが1つありまして、教育の分野では、こういう形でどんどん広がっていき、今後も取り入れられると思いますけれども、使う場所や時間が増えれば増えるほど、あるいは日常的な場所で英語を使う機会が増えることが、教育場面で得られたものを定着させていくことになるのだらうと思います。

例えば、社会教育と連携して、親も子どももイングリッシュデイなど、365日のうち100日くらいはどこかの場所で一日を設けるとか、親善交流や英語塾とも連携するとか、ボランティアでやられるような計画をしていく企画発案はないのでしょうか。そうしないと実際に使える人がいないと、ずっと何十年も日本は言われているので、何か突破口を開くような発案はないものかと思っていました。質問ではなく意見として、お考えいただければと思います。

敦賀調整監

社会活動、生涯学習と言いますか、市内でも国際交流の推進の専門の担当部署もございますことから、帯広の森を英語で語ろうというものの、はぐく一むと親善交流課の連携事業として、夏休み中に親子対象で取り組む予定がされております。また、スポーツの分野でも、総合型地域スポーツクラブでサッカーとルールについて英語で語るということをスポーツクラブ側の自主的な取り組みとして行われております。そういったことも意図しながら、生涯学習全体で国際交流という観点から、直接連携でなくても教育の分野と連携する形で、日常的に触れる機会を提供してまいりたいと思います。

門屋 委員
伊藤 委員

分かりました。

質問というよりも激励のようなこととお話したいのですが、四館連携ということで非常にユニークな企画をされていると思います。わが街を過去の写真と現実を見ながら振り返り思い出す。そして、次の発展につなげようという企画は、それぞれの館の特徴を生かして行われることは非常に素晴らしいことだと思います。特に百年記念館の中でやられようとしている帯広の街中に展示しようとしている企画は、本当に実感できるものではないかと思います。これが大成功に終わることを期待しています。そこで、写真についてですが、荘田さんの写真ばかりではなくて、一般市民の方からお借りしたのや各館で持っているものを展示するのをお聞きしたいと思います。

北沢 館長

応援ありがとうございます。写真展で使用する写真でございますけれど、もちろん荘田喜與志さんの写真もでございますが、かつて百年記念館で様々な写真展を開催したときに収集した資料、帯広市史の写真資料、一般の方からご寄贈いただいた資料もございますので、その中から街並みにマッチする写真を選びまして、ラミネート加工して展示できるようにしたいと考えております。なかなか新着の古い写真がないということもございますが、工夫しながら開催していきたいと考えております。

伊藤 委員
田中委員長

ありがとうございます。

他になければ、質疑を終結し、本件を終了いたします。

その他（5）寄附受納についてを議題といたします。

直ちに説明を求めます。

野原 課長

企画総務課の寄附2件についてご報告いたします。議案書27ページになります。帯広市内、帯広建築工業協同組合様から、平成24年5月16日付でグラウンド用の砂49 m³ 12万8,625円相当を市内中学校4校へご寄附をいただいております。次に帯広市内、株式会社市川組様から、平成24年5月29日付で樹木・オンコ2本50万円相当を緑丘小学校へご寄附いただいております。いずれも教育環境の一層の充実を図るためという趣旨でございます。以上です。

北沢 館長

百年記念館から寄附2件をご報告いたします。1件目は、浦幌町にお住まいの〇〇〇〇様から、戦後間もなく使用していた懐炉と昭和30年代のお雛さま、計2点をご寄贈いただきました。2件目は、市内にお住まいの〇〇〇〇様より、SPレコード37点、歌謡曲、浪曲、メジャーではないかもしれませんが新十勝音頭なども入っております。いずれもご寄贈いただいた方の趣旨に沿って活用してまいりたいと考えております。以上です。

高橋 園長

動物園からも寄附の報告をさせていただきます。議案書は28ページになります。帯広市内、東光舗道株式会社様から、花壇2面14万6千円相当をご寄附いただいております。平成22年から道路からの園路の舗装、補修等の奉仕活動をいただいておりますけれど、今年度につきましては、その補修に合わせて園内の環境整備として花壇を造成し、ご寄附いただいたものでございます。以上です。

田中委員長

これから質疑に入ります。

各 委 員

ありません。

田中委員長

別になければ質疑を終結し、本件を終了いたします。

事務局からその他説明事項はありますか。

吉田 館長

当日配付させていただきました図書館の雑誌スポンサー制度契約一覧について簡単にご説明させていただきます。帯広市図書館では現在、雑誌を200タイトルほど購入させていただいておりますが、近郊や全国に比べて決して多い数字ではございません。この雑誌を充実すべく、本年5月から購入雑誌の代金を支払って当館の雑誌の棚に各会社の広告を掲載するという雑誌広告スポンサー制度を募集させていただきました。5月から募集させていただきましたところ、直ちに申し込みをいただきまして、現在、6つの会社・団体で26誌について、それぞれの団体から書店に代金をお支払いただく形で、スポンサー制度を契約させていただいております。参考価格で税込年額の総計と契約額が異なりますのは、雑誌によりまして、臨時や特集を組んだりして毎月同じ単価ではございませんので、昨年の購入単価を参考にして、契約金額を算出させていただきました。年度末、契約期間満了期に近くなりましたら、価格については契約者と改めて相談させていただくことになろうかと存じます。現在も2社から別に申込みがございまして、契約の準備を進めているとこ

ろでございます。報告は以上でございます。

田中委員長
門屋 委員
吉田 館長

これから質疑に入ります。

スポンサー募集というのはどこかでなさっているのですか。

雑誌スポンサー募集というのは、あまり目立たなかったかもしれませんが、報道関係にもすべて出させていただきました。それをご覧になって直ちに申し込みがございました。

田中委員長

他になければ質疑を終結し、本件を終了します。

ここで、会議の進め方についてお諮りいたします。

次の日程第7については、帯広市教育委員会会議規則第16条第1項第6号により、非公開にいたしたいと存じます。また、日程第8の案件については、帯広市教育委員会会議規則第16条第1項第2号により、秘密会にいたしたいと存じます。

これにご異議ありませんか。

各 委 員
田中委員長

異議なし。

ご異議なしと認め、そのとおりに取り扱います。

これより会議を非公開といたします。

日程第7、報告第12号、第5回中城ふみ子賞決定についてを議題といたします。

直ちに説明を求めます。

大久保部長

報告第12号、第5回中城ふみ子賞決定についてご説明いたします。議案書11ページをご覧いただきたいと思えます。本件は13ページにございます中城ふみ子賞表彰に際しての基準に基づき、賞を決定したことをご報告するものでございます。去る5月30日に帯広市図書館おきまして、選者であります、松平盟子氏、東直子氏、時田則雄氏の3氏による選考会が行われました。その選考結果を踏まえ、6月8日に実行委員会で協議した結果、12ページにございますように、愛知県在住の中畑智江さん、40歳の「同じ白さで雪は降りくる」という作品が中城ふみ子賞にふさわしいとして、帯広市長に推薦があり決定をいたしました。その他優秀な作品が多くありましたため、次席1編、佳作2編、候補作3編を決定いたしました。発表は6月27日の市長記者会見にて行います。また、受賞作品につきましては、短歌研究社の短歌研究8月号に掲載される予定です。なお、第5回中城ふみ子賞の贈呈式につきましては、中城ふみ子の命日であります8月3日金曜日とかちプラザにて行います。贈呈式後には選者の一人であります、松平盟子氏による講演会も予定しており、委員の皆様には後日改めてご案内申し上げます。なお、参考に当日配付でお手元にA4資料を配付してございますので、ご覧いただきたいと思えます。報告は以上でございます。

田中委員長
田中委員長

これから質疑に入ります。

私から1点だけ、このふみ子賞あるいは、次席、佳作の方々は、

受賞歴がかなりある歌人の方なのではないでしょうか。

吉田 館長

「同じ白さで雪は降りくる」の中畑智江さんは、前回の中城ふみ子賞の佳作の方です。船橋剛二さんもかつての中城ふみ子賞の佳作でいらっしゃいます。今井心さんは、今回市長の記者会見に際しまして、今までの作家歴などを出していただいたのですが、ほとんど作っていらっしゃらなくて、最近歌を始めたばかりということで、どちらかと言うと新人賞にふさわしいのかなと思います。

田中委員長

まだ二十歳の方ですね。すばらしいですね。

田中委員長

他になければ質疑を終結し、本件を終了いたします。

これより秘密会といたします。

(以下、非公開)

田中委員長

事務局からの説明事項は以上であります。この際、各委員から他にご意見、ご質問等があればお受けいたします。

田中委員長

先ほど聞けばよかったですのですけれども、帯広市のホームページでこれから給食の献立を公開していくと報道で出ていたようですけれども、基本的には毎日なのではないでしょうか。

須貝 部長

具体的に検討していくこととなりますが、基本的には毎日紹介していくこととなります。

田中委員長

大変でしょうけれど、がんばっていただければと思っております。

須貝 部長

できるだけ情報を正確にお伝えしていくことがご理解いただく基本だと思います。

田中委員長

よろしく申し上げます。

田中委員長

他になければ、本日予定されておりました案件はすべて終了いたしました。

以上で平成24年第11回帯広市教育委員会会議を閉会いたします。